

国立大学法人旭川医科大学学長の業務執行状況の確認結果について

学 長：吉 田 晃 敏

任 期：平成27年7月1日～平成31年6月30日

確認期間：平成27年7月1日～平成29年3月31日

【確認結果】

国立大学法人旭川医科大学学長選考会議は、国立大学法人旭川医科大学学長の業務執行状況の確認に関する細則に基づき、確認期間における吉田晃敏学長の業務執行状況の確認を実施した結果、下記の評価により、吉田晃敏学長の業務は適切に執行されていると判断する。

記

- I. 「平成27年度に係る業務の実績に関する評価結果について（通知）」において、国立大学法人評価委員会から、学長のリーダーシップの下、「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められ、項目別評価においても、(1)業務運営の改善及び効率化、(2)財務内容の改善、(3)自己点検・評価及び情報提供、(4)その他業務運営の全ての項目で「中期計画の達成に向けて順調に進んでいる」と評定された。
- II. 「平成28事業年度に係る業務の実績に関する報告書」において、(1)業務運営の改善及び効率化に係る10件の年度計画、(2)財務内容の改善に係る7件の年度計画、(3)自己点検・評価及び情報提供に係る2件の年度計画、(4)その他業務運営に係る6件の年度計画の進捗状況について、自己評価ではあるが(2)財務内容の改善に係る2件の年度計画を「IV：年度計画を上回って実施している」、それ以外の年度計画を「III：年度計画を十分実施している」と評定した。
- III. 平成27年度監事監査において、中期計画に基づき、学長のリーダーシップの下で、各分野に積極的に取り組んだ結果、年度計画は概ね順調に進んでおり、財務内容についても累積赤字を圧縮したことは大いに評価できるとの監査結果を得た。
- IV. 平成27年度決算報告書の収支差は約9億9,500万円の黒字、平成28年度決算報告書の収支差も約16億3,200万円の黒字となっており、大幅な経営改善が図られていることが認められた。

V. 学長就任時の公約への取組状況についても，1. 人材養成機能の強化に係る6項目，2. イノベーション創出に係る5項目，3. 病院機能の強化に関する5項目，4. グローバル化に関する4項目，5. ガバナンス機能の強化に関する5項目の全ての項目が平成27年度又は平成28年度に実施済みであることから，順調に取り組んでいることが認められた。

平成29年6月28日

国立大学法人旭川医科大学
学 長 選 考 会 議